

平成27年度

島根大学大学院医学系研究科

看護学専攻（修士課程）入学者選抜

試験問題

小論文

（60分間）

注意

- 1 問題紙は指示があるまで開いてはいけません。
- 2 問題紙は表紙を含めて3枚です。
- 3 志望するコースの問題について解答してください。
- 4 問題紙は持ち帰ってください。

看護管理学コース

問題 次の表1は、病院に勤務する看護職の、職務環境・職務内容・給与に関する満足
の程度と、仕事と生活の調和に関する実現の程度との関連を分析した結果を
示したものです。

以下の問1，問2に答えなさい。

表1 「職場環境、職務内容、給与に関する満足度測定尺度」と「看護職の仕事と生活の調和実現度
尺度」の因子間相関(Pearsonの相関係数)

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(『村上貞須美(2014)看護職の仕事と生活の調和に関する研究－「看護職の仕事と生活の調和実
現尺度」の開発－；日本看護管理学会誌, 18(1), 5-16』の表5を引用し改編した。)

問1. 表1のデータから分かることを、解答用紙の1枚目に説明しなさい。

問2. 表1の結果を踏まえて、貴方の職場の職員の職務満足を高めるために取り組む
べきワーク・ライフ・バランス推進における課題を挙げ、その対策について、
解答用紙の2枚目に論じなさい。

老人看護 CNS コース

問題 次の文章を読んで、問1、問2に答えなさい。

Aさんは88歳の女性で、娘（65歳）と二人暮らし。6年前にアルツハイマー型認知症の診断を受け、ドネペジルの内服を続けていた。診断時の改訂長谷川式簡易知能評価スケールは10点であるが、最近は検査を行っていない。近頃は言葉数も少なく、食事の時以外はベッド上で臥床していることが多い。トイレには行けるが、ときどき尿失禁があるため尿取りパッドを使用している。

要介護3の認定により、通所介護（デイサービス）を週1回利用し、その際に入浴している。3か月に1回、1週間ほどの短期入所生活介護（ショートステイ）も利用していた。

ある朝、Aさんに発熱があり起き上がることができなくなったため、救急外来を受診したところ、肺炎の診断で入院となり、抗菌薬の点滴治療が開始された。

問1. 入院後に生じると予測される問題状況と、その発生を予防する方法について述べなさい。解答用紙の1枚目に解答しなさい。

問2. 入院後1週間ほどで退院の予定である。退院に向けて必要な援助について述べなさい。解答用紙の2枚目に解答しなさい。